

2025年2月14日

各位

会社名 株式会社サーティーフォー  
(コード番号 310A TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 唐橋 和男  
問合せ先 専務取締役 CFO 兼管理本部長 荒井 耕司  
TEL 042-779-7766  
URL <https://www.thirty-four.co.jp/>

## 通期連結業績予想と実績の差異及び役員報酬減額に関するお知らせ

2024年12月27日に公表した2024年12月期の通期連結業績予想について、実績との差異が生じたので、お知らせいたします。また、業績予想と実績の大幅な差異の発生に係る経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を実施することを、併せてお知らせいたします。

株主・投資家の皆さま、お取引先の皆さま、市場関係者の皆さまをはじめ、多くのステークホルダーの皆さまには、多大なご迷惑とご心配をお掛けすることになり、ここに深くお詫び申し上げます。

## 1. 2024年12月期通期（2024年1月1日～2024年12月31日）

## (1) 連結業績予想数値と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,285	百万円 127	百万円 24	百万円 212	円 銭 280.72
実績 (B)	10,424	△142	△222	58	76.81
増減額 (B - A)	139	△269	△246	△153	—
増減率 (%)	1.3	—	—	△72.6	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	7,348	86	56	△16	△21.27

## (2) 差異の理由

2024年12月期に販売を計画していた、事業用不動産を含む物件の販売時期が2025年12月期にずれ込むということがありましたが、利益率は下回るものの、販売計画外であった新築分譲住宅、事業用不動産の販売によって売上高の減少を埋めることができたため、連結売上高は創業来最高となる10,424百万円（139百万円増加）となりました。

一方で、営業利益は、以下の要因により、△142百万円（269百万円減少）となりました。

売上原価については、2025年1月以降に販売価額を値下げした物件等について、2024年12月期に棚卸資産評価損（約34百万円）を計上したこと、売上高の増加に伴い引渡物件に関する補修引当金が

増加したこと及び業績予想値を算出するにあたって売上原価の前提条件に一部誤認があったことにより業績予想算出時点で想定していたよりも実績値が増加しました。

販売費及び一般管理費については、当初、販売用不動産に係る固定資産税等を棚卸資産の取得に係る付随費用として販売用不動産に含めて処理する方針でしたが、2024年12月期の費用として処理することに変更し、租税公課（約20百万円）として計上したこと、業績予想値算出時点で想定できていなかった支払手数料等の費用が発生するなど、想定していたよりも実績値が増加いたしました。

また、これらの影響により、経常利益は△222百万円（246百万円減少）、親会社株主に帰属する当期純利益については、58百万円（153百万円減少）となりました。

## 2. 役員報酬の減額について

今回の業績予想と実績の大幅な差異の発生を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下の通り役員報酬を減額することを、本日開催の臨時取締役会で決議いたしました。

### （1）減額の内容

代表取締役	月額報酬の30%を減額
取締役（社外取締役を除く）	月額報酬の15-20%を減額

### （2）月額報酬減額実施の期間

2025年4月～2026年3月（12か月間）

## 3. 今後の対応

当社は、今回の業績予想と実績の大幅な差異の発生を極めて重大なものと受け止めており、株主・投資家の皆さま、お取引先の皆さま、市場関係者の皆さまをはじめ、多くのステークホルダーの皆さまに深くお詫び申し上げるとともに、経理・財務会計体制の更なる強化に向けた内部管理体制の見直しを実施し、再発防止に努めるとともに、健全な経営体制を全力で構築する所存でありますので、引き続きのご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上